

10 月 6 日 : VN 指数は 3 日続伸

大引けにかけて投資家のリスク選好姿勢が強まり、多くの大型株に買いが広がった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.6% (8.19 ポイント) 高の 1,362.82 ポイントで取引を終えた。騰落別では 274 銘柄が上昇、129 銘柄が下落した。

しかし出来高は依然として少ないままで、売買高は 19 兆 4,000 億ドン (8 億 5,100 万米ドル)、売買代金は約 6 億 3,700 万株だった。

大型株が買われたことで、VN 指数は 3 日続伸した。VN30 指数は 0.38% (5.51 ポイント) 高の 1,461.72 ポイントで引けた。同指数採用銘柄のうち、16 銘柄が上昇、10 銘柄が下落し、4 銘柄は変わらずだった。

原油高を受け、石油ガス関連銘柄は堅調な動きが続いた。中でもペトロベトナムガス (GAS) は、VN30 指数採用銘柄の中で上昇率トップとなった。ペトロベトナムガスの終値は、113,500 ドンと前日に比べ 4.13% 上昇した。

他にもビンホームズ (VHM)、テクコムバンク (TCB)、ホアファットグループ (HPG)、ビンコムリテール (VRE) といった大型株の上昇が目立った。これらの銘柄はそれぞれ 1.3% 以上、値を上げた。

しかし一部の大型株はこの日も軟調な地合いが続いた。中でも VP バンク (VPB) は 1.6% 安と VN30 指数の中で最も下げた。

「テクニカル分析では、VN 指数が心理的節目である 1,350 ポイント台に乗せたことは、同指数が今後 1,375~1,380 ポイントの上値抵抗線を目指していく可能性があることを示している」 (サイゴンハノイ証券 (SHS) のアナリスト)

「現在ポートフォリオに占める株式の割合が高い投資家は、今後 VN 指数が上値抵抗線を上抜けていくという期待を持ち、そのまま保有し続けるのもいいだろう。また一方で現在手元資金の多い投資家は、はっきりした投資チャンスが到来するのを待ち、様子見姿勢を取ってもいいだろう」 (同証券会社)

ハノイ市場の HNX 指数も 0.54% (1.97 ポイント) 高の 368.47 ポイントだった。

売買高は 1 億 190 万ドン超、売買代金は約 2 兆 2,000 億ドンとなった。

その一方で外国人投資家は両市場 (ホーチミン、ハノイ市場) で合わせて 5,372 億 2,000 万ドンを売り越した。そのうち、ホーチミン市場で 5,314 億 5,000 万ドンを、ハノイ市場で 57 億 7,000 万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。